

科 目 名

衛生化学 I (栄養化学)

Hygienic chemistry I (nutritional hygiene)

2年 後期 2単位 必修

山口 忠 敏

概 要

人の健康は、生体内における生理状態（内部環境の恒常性の維持）によって保たれている。しかし、その生体を取り囲む環境（外部環境）からの様々な侵襲要因によって、生理状態はたえず影響される。その侵襲要因に対して、恒常性の維持が出来なくなったとき、健康は破綻して疾病へと転化する。その健康へ影響する要因の一つである栄養について学び、健康被害からの防御の方法と技術を習得する。

授業計画

総論 栄養と健康 C11(1)-1-1～8

各論 1. 栄養素 C11(1)-1-1

- 1) 糖質
- 2) 脂質
- 3) タンパク質
- 4) ビタミン
- 5) 水とミネラル

各論 2. 栄養素の消化、吸収、代謝 C11(1)-1-2,3

各論 3. エネルギー代謝 C11(1)-1-2,4,5

各論 4. 栄養価と摂取基準 C11(1)-1-6～8

その他、随時、人の健康に関するニュースについて衛生化学的な面からの解説。大学独自

評価方法

期末試験および出欠のチェックをかねた小試験、課題についてのレポート提出等の総合で評価する。

教 材

教科書：衛生薬学—健康と環境—（廣川書店 新井洋由、早川和一 編）

参考書：国民衛生の動向（廣濟堂 厚生統計協会 編）

履修上の注意

世間における人の健康に関する諸問題について、問題解決の意識を持って理解するように努める。